

1. 意見

別紙

天塩川の流域に住み、水に全く不自由を感じたことがなく暮らして来ましたが、昨今の地球を取り巻く環境等々考えて見ますと、改めて恐ろしさを超え恐怖さえ感じます。

しかし私は川の本来の持っている魅力を今一度思いおこしたく思います。

川には人を癒す効果があると思います。

それは波であったり、そのかもし出すせせらぎの音であったり、数え切れないほどの力があると思います。

しかし川の持っている本来の川への恩恵ともいえる力を色々な人間の都合で利用し、人を遠ざけて来てしまいました。

この事はとても寂しい事です、暮らしに水は必要でそして水辺から人の営みが生まれ今の暮らしが有る事を、今一度考える必要があると、私自身反省を込め思います。

川の主人公は川の水の中に住むものが、正しく主人公です。その事を鑑みますと私たちの傲慢さは詫びても詫びきれないものと思いますが、人間の生きるが故の勝手さを詫びると共に、川に寛容さをただ望むだけです。

そこで歴史は塗り替える事は出来ないのですから、今から少しでも川本来の魅力を取り戻すように川に住むものの心地良さを、私たち人間が反省を込め取り返せるように努力していこうではありませんか！

具体的に云いますと急ぎ魚道の整備をし、そして川岸に草木が繁茂し、そこに川えびが繁殖できるように、そしてトンボが卵を産めるような床を・・・沢山の思いがありますが出来事から、私たち皆で少しずつ自然な川に戻して行きたいものと思います。

今までの川の利用が少しだけ傲慢だった事を反省し、真の豊かな川に戻れますように関係機関にお願い致します。

住所 士別市